

ゆめたび

2026.9.29 (火)

No.3

笛吹市立石和中学校

発行者：小山拓真

任地ココボに到着！～人も気候も暖かい南の島から～

Apinun！パプアニューギニアに来て1か月が経ちました。私が活動しているのは、パプアニューギニアの東ニューブリテン州にあるココボという町の小学校です。ココボは、海に面していて、「南の島」にふさわしいとても綺麗な町。映画「永遠の0」の舞台にもなった日本とも非常に馴染みのある場所です。近年、外国企業が数多く進出したこともあり、現地の方以外にも海外からやってきた人も多く暮らしています。



ココボ小学校での活動が始まりました！！

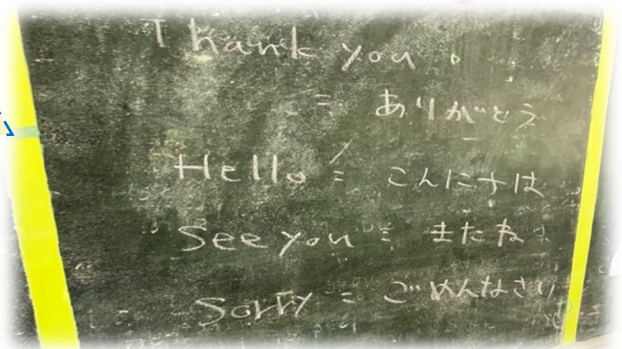
学校に初めて行った日のことは、今でもよく覚えています。校門入ると、たくさん子どもたちが笑顔で声をかけてくれました。先生たちも温かく迎えてくださり、「ここで一緒に頑張っていこう」と前向きな気持ちになりました。私自身、現在は英語や体育、社会科学などの授業を担当しています。英語や体育を英語で教えるのは、私にとって初めての経験です。今の私は分からないことだらけ。なので、現地の先生方や生徒から日々たくさんのことを教えてもらっています。ともに成長している感覚を味わいながら、教育活動に励んでいます。

ークラス 40 人～50 人ほどの生徒が、暑い中、扇風機もない環境で学習しています。また、日本のように一人一冊教科書があるわけではないため、一冊の教科書を何人かで見ながら学習しています。一人一人の生徒が安心して有意義に学べる環境を整えていくことも、私の仕事の一つです。工夫が求められます。



私が今の授業で意識していることは、「一人一人の学習状況を把握すること」です。そのため、授業中は歩き回って生徒一人一人の様子を観察しています。日本では当たり前のように行われている「教え合い」の文化はありません。誰一人置き去りにしない授業をつくるために、私自身も挑戦しています。ただ、うまくいかないことがほとんどの毎日です（笑）でも、楽しいです！

授業の中で、毎回日本語を子どもたちに教えています。今のところ、「こんにちは」と「ありがとう」は、学校中に広めることに成功しました（笑）今後は、「いただきます」と「ごちそうさま」を、その意味を踏まえて教えていきたいと思っています。こちらの子どもたちは日本語に興味津々。教える中で、私自身が日本語の素晴らしさに気づく毎日です。





学校では、生徒や先生方と笑顔で過ごす毎日が続いています。生徒たちはとても人懐っこく、日本にも興味津々。たくさん質問してくれます。私の上手ではない英語や現地語にも、一生懸命耳を傾けてくれる姿が本当に嬉しいです。先生方は、「分からないことがあったらいつでも相談して!」と言ってくれます。まだまだ不安は尽きません。だけど、人の温もりを感じる日々です。

9月16日はパプアニューギニアの独立記念日でした。今年で51周年だそうです。私は早朝からマラソンイベントに参加しました。みんなでパプアニューギニアの服を着て、独立をお祝いする時間がとても素敵でした。自分の国への誇りを持つ大切さを感じた1日になりました。



実は、本赴任当日に飛行機がキャンセルになるという事件が起きました(笑) この国では非常によくあることです。予定通り飛行機が飛ぶことは当たり前ではないんですね。このことについては、「JICA 海外協力隊の世界日記」で詳しく書いています。興味があれば、下のQRコードから読んでみてください!



2026/09/09 Wed 文化
本赴任初日、まさかのフライトキャンセル!?



パプアニューギニアでの学校生活が始まり、毎日たくさんの発見があります。日本の学校とは、教室の環境や授業の進め方、教材など、違うところがたくさんあります。限られた教材の中で工夫しながら学ぶ子どもたちの姿を見てみると、日本では「当たり前」だと思っていたことが、決して当たり前ではなかったことに気づかされます。でも、子どもたちと一緒に過ごしていると、面白いことにも気づきます。分からない問題を一生懸命考えたり、友達と笑ったり、先生にちょっとしたずらをして。そんな姿は、日本の子どもたちとそっくりです。国も、言葉も、文化も、学校の環境も違う。それでも、子どもたちの笑顔や「できるようになりたい」という気持ちは、どこか同じなのかもしれません。これまで私は、パプアニューギニアでたくさんの「違い」を見つけました。これからは、違いの中にある「同じ」にも目を向けてみたいと思います。違いを知り、同じを見つける。そんな視点を大切にしながら、子どもたちと一緒に学んでいきます。私は今も挑戦中です。うまくいかないことが9割以上。だけど、そのうまくいかないことを楽しんでいます。うまくいかないことをマイナスに捉えるのではなく、成長の種だと捉えれば、案外失敗することも楽しめるようになって改めて気づきました。